NEWS & TOPICS

現在の就職状況

就職指導課　田村　広美

全国的に就職率が好転している状況ですが、本学学生も奮闘し、内定をいただいております。1年次から自己分析をしっかり行い、3月からの企業訪問や会社説明会に積極的に参加し、筆記試験対策の準備をしておく事が大切です。

また、保育園（所）・幼稚園・認定こども園、施設等は、昨年度同様に求人数は多く、就職希望者の多くが年内に内定しています。まだ進路の決定していない学生の皆さん、最後まで諦めずに頑張りましょう。

第10回保育フェスティバル

短大フェスティバル検討委員会　委員長　東　真美子

保育フェスティバルは、保育科学生が日頃の学修の成果を地域の方々に披露することで、本学の地域貢献の一つになるとともに、本学の魅力を発信する機会となる重要な企画です。学生にとっても、自分達で内容を企画し、学友と協働し主体的に活動することで、実践力の向上や自信にも繋がる貴重な機会となっています。今年で10年目となる本企画はすっかり保育科の名物企画となっております。

今年は、10月に「本学国際交流センター」、12月に「宮交シティ紫陽花ホール」にて開催いたしました。10月は、本学の「秋の忍ヶ丘祭」と同時開催だったため、保育フェスティバル委員の学生は、自身のクラスの企画と保育フェスティバルの企画の掛け持ちとなりましたが、それぞれに一生懸命活動してくれました。当日は、あいにくの雨模様でしたが、100名を超える子どもたちや保護者の方々にお越しいただき、会場はたくさんの笑顔で溢れていました。

同じメンバーで開催した12月の保育フェスティバルでは、10月の保育フェスティバルでの反省を活かし、さらには季節に合わせてクリスマス音楽の演奏も取り入れることで、さらに充実したものになりました。10月の学内開催のときよりも多くの来場者（約200名）にお越しいただいたことで、学生達の成長もより一層のものになったと思います。教員として学生の成長を目の当たりにし、今年も本企画の目的を果たせたと実感しております。

今後も地域の方々に愛される短大・保育フェスティバルにしていけるよう、学生と共に取り組んでまいりたいと思います。

卒業式・修了式のご案内

式は、卒業証書・学位記、修了証書授与式という形で挙行されます。

多数の保護者の参列をお待ち申しあげます。式終了後、卒業生は各教室に別れて学級主任から証書等を受け取ります。

どうぞ保護者の方も教室にお入りください。

日時 3月19日（月）10時～　**場所** 本学体育館

地域交流研究センター活動報告

地域交流研究センター委員長　有嶋　誠

地域交流研究センターは、地域との情報交換や交流活動を通して、本学の地域貢献を推進し研究することを目的としています。

教職員の地域貢献活動としては、市民を対象にした市民講座や保育者を対象とした「保育研修会」を実施しています。市民講座（公開講座）は一般市民を対象にした「シニアいきいきセミナー（2日間）」「ニューライフアカデミー（2日間）」と子育て中の親子を対象とした「子育て支援セミナー（2日間）」を実施しています。「保育研修会」は、7月に県内の保育園（所）や幼稚園等に勤務する保育者を対象に「子どもの音楽遊び」を実施し、保育者の指導技術を高めたり指導の悩みへの相談を受けたりしました。

学生の地域貢献活動としては、一般ボランティアの活動と「ボランティア実習」の授業による活動があります。課題解決型」のボランティア実習の授業には20名の学生が在籍し、清武町及び住んでいる地域の社会福祉協議会を訪問し、ボランティア活動の現状と課題を探りました。その後に清武町内で10時間以上、住んでいる地域で15時間以上のボランティア活動を経験しました。20名の学生は「子ども食堂」「保育園の夏祭り」「幼稚園の運動会」「病院での読み聞かせ」「マラソン大会の補助」など様々なボランティア活動を行っており、清武町や住んでいる地域のボランティアに貢献しました。

地域交流研究センターは、今後とも教職員や学生の地域交流や地域貢献を推進し、地域とともに成長する日本一の短大を目指していきたいと思います。

宮短フォト 575

宮短フォト575とは、写真と17（575）文字、双方が互いに響き合い、生み出す不思議な世界、新感覚のアート作品のことです。写真では表現しにくい「写真の心」と575では表現しにくい「575の情景」を補完しあい、広がりのある味わい深い世界が展開します。作品は、「ユーモア溢れる作品」「芸術的な作品」「ほのぼのとした作品」「切れ味鋭い作品」等になり心が動き癒されます。

宮崎学園短期大学では新館ラウンジに「作成コーナー」を設置し、学生も教職員もいつでも誰でも挑戦できるようにしています。優秀作品ＢＥＳＴ20は掲示され、大賞と優秀賞の該当者には、学長先生から直接賞状と景品を受け取ることが出来ます。投稿数も第1回447点第2回は672点と増加し、作品も表現力が豊かになってきているので、本学の特色ある活動になりつつあります。表紙の写真は第2回の大賞を受賞した作品です。その他の受賞作品は本学ＨＰで紹介していますので是非ご覧ください。

後援会総会のご案内

後援会総会は、入学式終了後に行われます。

決算・予算の承認、役員の選出を予定しております。

日時 4月7日（土）11時30分～（入学式終了後）

場所 本学体育館

平成28年度　宮崎学園の財務状況等を本学ホームページに掲載しております。

発行 ●宮崎学園短期大学後援会　発行責任者 ●藤元　淳一

2018 Miyazaki Gakuen Junior College　宮崎学園短期大学後援会

2 後援会だより

February 2018　Vol. 35

第２回宮短フォト５７５大賞受賞作品

自信はなくていい、でも情熱を傾けられるモノを見つけよう！

学　長
宗和　太郎

今年も２年生の多くが成人式を迎えた。盛装して写真を撮り合う姿は昔も今も変わらない。あの頃の私は何を考えていただろう。今の自分があの頃の私に何を言ってあげられるかを考えた。

同世代の中で生きていると、横並び意識が強くなる。実社会では多様な人々が存在し、様々な差が前提である。同世代どうしでずっと生活していると、小さな差が気になる。世間から見れば小さな差を見て、若い頃は自分を意識し、他人を意識し、もやもやした感情の葛藤にさいなまれた。

他人の良い所を見ると、対照的に自分のダメな所が見えてしまう。自分のダメさ加減に打ちのめされて、劣等感、そして嫉妬心がもたげてくる。そしてボロボロのプライドが、なんとか自分をよく見せられないかを夢想する。

ファッション、髪型、化粧、流行を追いかけ個性を演出し、負けてないフリをする。一人前のフリをしてみても、内面はボロボロのままだ。自信の持てるモノはない。見せかけを作りたい気持ちも分かるが、大切なのは自分の自信を育てることだ。

羨ましく思えるあの人も、多分みんな同じだ。自分に自信を持てず、負けてないフリするのに精一杯。みんな、ほぼ同じスタートラインに立っている。自信は天から与えられるモノではない。自分で努力して、手に入れるモノだ。

最初からうまくいく人はいない。うまくいかなくても、めげずに前進することが上達につながり、自信につながる。

青年よ、大志なんか抱かなくて良い。何か上達を目指すモノを見つけよう。今からがスタートなのだ。情熱が傾けられるモノ。それを見つけ、自分の「尖り」にしよう。他人の目ばかりを気にして、悔いの残る人生にしないように。人生最後の日がいつ来るかは誰にも分からない。

人生の先輩に尋ねてみよう。「若い頃、熱心になさったのは何でしたか？」

私は何だったか？あの頃は語学だったか。社会改革への情熱だったか。いろいろ追っかけながら、それが今の自分を作ってきている。

輝ける忍ヶ丘（学生の成長）

保育科

学生の成長～体験からの学び～

保育科長　中武　亮子

人の成長には自分の身体で体験し、五感で感じることが最も大切だと考えます。この1年間、保育科生、専攻科生共に自分の目標に向かって頑張ってきました。それぞれに課題があり、壁にぶつかることもあったと思いますが、様々な体験から様々な学びがあることを感じていることと思います。その中でも貴重な体験が、『様々な人との出会い』ではないかと考えます。自分を知り、自分と違う考えを持った多くの人に出会い、様々な人と共に生きていく体験は、保育・教育・福祉の道に進む学生たちにとって特に大切な学びとなるでしょう。学生たちが、この1年学びを重ねた自分に自信を持って次のステージに進み、お世話になった多くの方々に感謝の気持ちを持ちながらさらに学んでいくことを心から願い、応援したいと思います。

入学して良かった

保育科2年　古野　理紗

私の出身は沖縄県です。私が本学を志望した理由は二つあります。一つ目は、専門的な保育の授業だけでなく、礼節・勤労を重んじている事です。二つ目は創立50年以上という伝統のある素晴らしい学校だからです。本学に入学して良かったと思うことは、児童文化財の活用方法を学べたことや、全く触った事が無かったピアノも一人ひとりに合ったペースで丁寧に教えてくれることです。また、実習では失敗を何度も経験したことで、子どもの様子をしっかりと観察しながら保育ができるようになりました。このような専門的なことを学ぶ中で、時には壁にぶつかる事もありましたが、学友と共に助け合い、励まし合い、競い合いながら保育者への一歩を踏み出せた気がします。私は今後、介護という新たな学びのために専攻科に進学します。将来の選択肢が増えるため、希望をもって学業に励みたいと思います。

専攻科（福祉専攻）

現場のリーダーを育成

専攻科（福祉専攻）主任　花畑　明美

本学の専攻科（福祉専攻）は、全国でも驚かれるほど学生数が多く、質もあわせて県内外から高い評価を頂いている。そして、今後は必ず本学の修了生があらゆる現場でリーダーとなり活躍していくと確信している。なぜならば、本学の専攻科生の場合は、保育士・幼稚園免許・介護福祉士・社会福祉主事任用4つの資格が強みであり、就職においては何も心配することなく選ぶことができる。そして最初は保育所や幼稚園、認定こども園の保育教諭として働き、その後さらに少子化が進み保育所に高齢者施設が併設されれば、介護福祉士資格で活躍することになるだろう。つまり、離職の心配はまったく要らない。それどころか、スーパーバイザーとしての活躍を求められている現状がある。このような評価をいただけるのも、「礼節・勤労」の建学の精神の教えとこれまでの修了生の活躍があるからと感謝するばかりである。

成長を実感

専攻科（福祉専攻）　山﨑　恵実

専攻科での一年間を振り返ってみると、様々な物事に対する考え方や、人に対する思いやりの気持ちなど、人間的に大切な部分が大きく成長できたのではないかと感じています。講義や実習を通して、一人ひとりの人生の背景や環境、個別性について理解することの大切さを学びました。また、実習先の、先生方からも多くのことを学びました。知識や技術を身につけるだけでなく、心を動かされ、自分の考えを見つめ直すことで自分の考えや視野の広がりを実感しているところです。専攻科修了後は、保育科在学中からの念願であった知的障害者施設に就職しますが、今後も障害者福祉に関する学びを深めていきたいと思います。専攻科での学びも残り僅かとなりましたが、介護福祉士国家試験に無事に合格して自信を持って社会に出て行きたいと思います。

現代ビジネス科

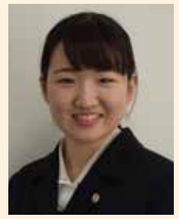
教育は「本気」

現代ビジネス科長　久保　良一

本学科は、地域に根ざす教育を行うために、「地産」「地育」「地消」を目標に高い実践力を目指す教育を展開しています。そこには、「人間力」「専門力」「教育力」の3つを兼ね備えた「総合力」の育成が大切なテーマになります。ここ（宮崎）で生まれ、ここ（宮崎学園短大）で教育を受け、ここで（宮崎）で活躍するために、総力を挙げて力作りに全力投球しています。時は常に変化しています。この変化に対応し先を見通した芽を作らなければなりません。そのためには、学生達を学校や家庭、地域で育てる役割を全体で自覚して教育を行うことが大切であり、またその役割を担う必要があります。「本気」になって、3者が意識し、学生、教職員、保護者、地域住民等とが触れ合い対話する力をぜひ持っていただきたいと思います。私たちの使命は、本気になって教育に全力投球することです。そこに、大きな付加価値が生まれます。将来を担う若者達をさらに、大きく羽ばたく人材として私たちは後援会の皆様と連携して、育成して行きたいと願っています。今後ともご子息に深い情熱を注いでいただき、学科にもご助言・ご指導を賜りますよう重ねてお願いいたします。

1年を振り返って

現代ビジネス科　医療事務・医療秘書コース1年　米澤　実花



私は、短大に入学して毎日充実した生活を送ることができています。入学当初は慣れない電車通学など新しい環境に慣れるのが大変で不安なことばかりでした。しかし、日々の学校生活の中で多くの友達と交流することができました。特に秋の忍ヶ丘祭では模擬店を出店しクラスのみんなと協力し絆が深まり更に楽しい学校生活を送ることができるようになりました。短大で医療事務や医療秘書に関する勉強をするようになり、解剖生理やレセプトの授業など覚える言葉も多く最初は難しいと感じました。でも、一つ一つ理解できることが増えていき、自分の知識が増えていくとだんだん楽しいと思うようになりました。また、検定も多く大変でしたが、友達と互いに教え合い多くの資格を取得することができました。人の心に配慮ができ、周りの変化に気づくことのできる医療秘書になりたいという思いが強くなりました。

一年間で得られたもの

現代ビジネス科　ビジネスコース1年　西本　瑠美華

この一年間で得られたものは、積極性だと思います。これまでの私は積極性があるとは言えませんでしたが、大学生活の中で身につける機会が沢山ありました。例えば、入学したての時に代議員に自ら立候補しました。その時は今までの自分と変わりたいと思い手を挙げたのを覚えています。これがきっかけで参加できる係活動には積極的に参加しました。オープンキャンパスに参加させていただいたときは、来学された方への対応や目上の人に対しての話し方を学ぶことができました。残りの学校生活は長くありませんが、積極的に取り組めることがあると思います。これまでよりももっと自分を成長させていくためにどんどんチャレンジをしていき、就職活動にも積極的に取り組みたいと思います。